

あい・愛だより 9号

男女共同参画計画
名護市ファミリー・サポート・センター
子育て支援

編集・発行 名護市教育委員会 社会教育課
沖縄県名護市港2-1-1(中央公民館内)
(0980)53-5438(内線206・207・208)

★ **男女共同参画講演会** ~平成19年度第7回「いるる女性学講座in名護」
「地域」で目指す男女共同参画 (男女共同参画推進啓発事業) ~現代に続く根神と祝の葛藤~”と題して、

平成20年3月9日(日)午後2時~4時、名護市国際交流会館で、大城道子先生(大学非常勤講師)をお招きし講演会を開催しました。

★ **講演会の内容から**...
大城道子先生



熱心に聴き入る皆さん

男女共同参画基本法は「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会」の実現を目指しています。国において男女共同参画は「21世紀のわが国の社会を決定する最重要課題」として位置付けているものの、社会に根強く残る「性別役割分業意識」などによりまだまだ男女平等な社会とはいえない。そこで地域に残る慣習と制度を、見直し、今後目指すべき方向を探る。

女性と男性の人権は同等の価値、つまり男女平等である。女性と男性の人としての性のあり方も同等の価値を持つ。なぜなら、われわれ人は有性生殖で繁殖するからである。これまで女性は男性と比べて、早い時期に人生を考えさせられることが多く、自らのライフスタイルは異なってきた。「女性であること」が人生を狭めることが無いよう、社会の仕組みを男女平等に変えていくことは緊要な課題である。

真の男女共同参画社会実現には社会における両性のあり方が大きく関わっている。

男女共同参画社会とは、性による差別の無い社会=ジェンダー平等な社会である。しかしながら、バッシング(逆流、反動)などジェンダーを取り巻く日本国内の状況は、良好とはいえない。それは性を分析する新しい視点ジェンダーという用語の理解が、行き渡らないことも原因であろう。

名護・やんばるの市民が、性による差別をせず/差別を受けず、自分に希望する人生設計にチャレンジ、または、設計変更が可能となる社会の仕組みを考察する。

★ **まとめとして**... **講演会風景**



ボランティア それはあなたの心から



ボランティア活動に参加する多くの若者の声です。
ボランティア活動は自分の意志で取り組むものです。
だからこそ、ひとりひとりの心の中にある思いが、
活動のパワーになるのです。

例・赤十字奉仕団・更生保護女性会・女性防火クラブ等あなたの出来る事をお願いします。

★ 女性行政担当主幹代わる！！

4月より女性行政主幹が代わりました。
安富園江さんが図書館へ、上地圭子さんが担当主幹になりました、よろしくをお願いします。



★ ているる図書情報室よりの図書借入状況
社会教育課・女性ネット
平成19年7月～平成20年3月 平成20年1月～3月
受入数=35冊 受入数=30冊
のべ貸出回数=87冊 のべ貸出回数=42冊

成果と感想

男女共同参画に関する易しい本が借りられてよかった。
まじかに本があることにより、関心が高まった。



★ フォーラム会場での・・・ 参加者の声

- ・来年もているるの講演を多く提供してください。
- ・若年層にふさわしい講演をお願いします。
- ・心の問題を取り上げて講演して欲しい。
- ・カウンセリング的な講演もお願いします。
- ・名護市の子どもたちの状況もっと知りたいですね！
- ・みんなが参加できる講演もして欲しい。

★ 女性ネット総会のお知らせ



日時 平成20年5月17日(土)午後2時～4時
場所 名護市国際交流会館
総会 議案審議・交流会
講話 中心市街地活性化プロジェクトチーム
内容 ~みんなで楽しい街づくり~
各団体5名程度の参加をお願いします。

連絡先・・・ 名護市教育委員会社会教育課
電話0980-53-5438(206・207・208)

※ 名護市女性ネットでは、会員を募っています。貴方も参加してみませんか？団体・個人も加入できます。



「子どもの家」しんぶん

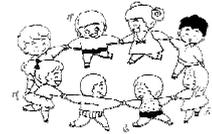
子ども達に体験させておかなければならないことは

働くことや手伝うことで思いやりの心を育てる。

友達と遊ぶことで関わり方を学ばせる。

子育て支援塾長のあいさつ

塾長 大城幸子



平成20年度の事業開始を迎えました。

名護子育て支援塾(放課後の子どもの居場所=子どもの家づくり)は、今年で早や8年目を迎えます。

発足当時の子育て支援塾は、県営宇茂佐団地、安部区の2ヶ所をモデル地域に指定し、放課後の子どもの居場所を地域でどのように受け入れるか等模索し活動を展開しました。

子どもは、学校での同年齢の集団とは違い、異年齢の集団の中で、どのように自分を表現し、その中に溶け込んでいくかを見守ることも重要でした。思いの外、子どもたちは、この環境の中で、自己表現をしていることを発見することができました。

平成19年度は、18ヶ所の地域に子どもの家を設置し、地域と連携をとりながら活動を展開しています。昨年度の子どもの家利用状況は、なんと2万人あまり、となっています。支援塾の子どもたちの様子を見ますと、お互いに大きな声で挨拶をするようになったし、集団の中の1人として仲間たちと関わりながら遊んだり、学習なども教えあう姿が見られるようになりました。このように、子どもたちは、地域で互いに交流のできる場所を求めているように思えます。また、家でのお手伝いをよくするようになった。子どもの家が毎日あればいいな—という母親の声もあります。

今、名護子育て支援塾では「地域みんなで育てる子育て」として、地域の公民館・集会場を利用させてもらい活動をしています。そこは、1日3時間、週2~3回は保母として(大人の目)配置し、子どもたちを見守っていますが、地域によっては、地域にあるミニデイサービスのおじいちゃん・おばあちゃんたちと共に活動しているところもあります。そこは伝統文化の継承の場ともなっています、そこでは昔の遊びを一緒に取り組んだり料理などもつくり、共に食しながら、信頼関係が育ち、思いやりの心が育つものだと思います。

現代社会は、青少年の犯罪、幼児児童に対する虐待、いじめや自殺、増大する不登校児童・生徒等、まだまだマスコミをにぎわしている状況があります。これから先、次代を担う子どもたちを健全に育てるには、家庭での子育てが一番大切なことですが、社会全体でも取り組まねばならない必要性も感じています。そこで、私たち名護子育て支援塾では、地域の子どもたち、名護市の子どもたちをより健全に育てるには、各地域で「子どもの家」をつくり地域みんなで、見守る子育てにすることが早急な事だと考えます。名護子育て支援塾としては、これからも支援の範囲を広げていきたいと思ひます。ご協力よろしくお願ひいたします。

「子どもの家」子育て支援塾の目的

「子どもの家」のネットワークを強化し、特にこれからは、高齢者と子どものふれあいを通して、世代間の交流を図り、不登校児の支援に努める。



学校のグラウンドであそんだよ・・・(東江子どもの家)

「子どもの家」のこれから

地域の子ども達に、地域の知恵袋である高齢者を通して、地域の文化である食育、地域言語、伝承遊び、伝統の踊りを放課後の居場所「子どもの家」で継承させる。



オバーちゃんに話してもらおう(安部子どもの家)

🍷 20年度「子どもの家」がはじまるよ！みんな来てね・・・

平成20年度の「子どもの家」は、放課後子どもプランの助成と名護市の助成を受けて実施しています。

あなたの地域にある「子どもの家」(公民館)や(集会所)に遊びに来てくださいね！・・・

だれでも入れる場所です。お友達と仲良く遊んだり勉強したりしようね！みんな待ってるよ・・・

📖 20年度「子どもの家」はこちらです。

📖 「子どもの家」を利用するには

場 所	TEL
県営宇茂佐団地集会所	5 3 - 7 0 9 3
安部地区会館	5 5 - 8 8 2 0
県営名護団地集会所	5 2 - 4 6 9 4
大東公民館	5 2 - 3 8 4 7
瀬嵩公民館	5 5 - 8 9 5 4
伊差川地区会館	5 2 - 4 5 4 5
大中公民館	5 3 - 1 9 9 4
宇茂佐地区会館	5 2 - 0 4 2 2
安和コミュニティーセンター	5 3 - 8 7 3 9
喜瀬コミュニティーセンター	5 2 - 5 0 2 2
幸喜公民館	5 2 - 2 8 4 7
県営大宮高層 集会所	5 4 - 7 0 1 5
県営東江高層集会所	5 4 - 3 9 2 8
宮里公民館	5 2 - 3 2 6 0
東江公民館	5 3 - 4 0 7 6
世富慶公民館	5 2 - 3 5 2 6
勝山公民館	5 3 - 8 3 3 6
辺野古公民館	5 5 - 2 1 2 1

「子どもの家」は、子ども主体の空間、時間、仲間づくりの手助けをしています。保育期間を終えた幼児や児童生徒であれば、どなたでも利用することができます。

▶ 「子どもの家」は1日3時間、週1回～3回の活動を

▶ 利用料は無料です。ただし、おやつとして月100～300円程度頂くこともあります。

▶ 利用するにあたっては加入申し込み書が必要です。利用される前に「子どもの家」までお越し

▶ 子ども安全保険(女性労働協会)に加入しますが、「子どもの家」の利用中に起こった事故や過失について

ルールを守ってサイクリング気をつけて・・・(名護団地子どもの家)



地域の子もたちと遊びませんか？

学習支援ボランティア募集！
名護子育て支援塾「子どもの家」では地域の子も達の学力向上に向けて学習支援を取り入れます。つきましては、名護市の子も達を健全に育成するため、月1回～2回、みなさまのご協力をお願いします。

例 読み聞かせ、合唱、絵画、習字、そろばん、英会話など・・・

思いやりの心・ かけがえのない命を大切に

お問い合わせは・・・ 名護市教育委員会 社会教育



TEL/53-5438(内線208) 担当/大城

,

,A

,
統

,

